



代表理事理事長
生川 秀治

経営管理委員会会長
谷口 俊二

ごあいさつ

皆さまには、平素より三重県信用農業協同組合連合会（JA 三重信連）をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

さて、令和元年度の国内経済は、良好な雇用情勢や所得環境が個人消費を下支えたことで、第3四半期までは緩やかな回復基調を維持したものの、年明け以降、我が国でも新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界経済の混乱や政府の行動自粛要請によって国内の経済活動は急速に収縮しました。その後、緊急事態宣言の全面解除により、行動制限は段階的に緩和されたものの、感染再拡大への警戒感が個人消費の回復を阻害するなど先行きが不透明な状況が続いています。

国内農業においては、東日本を縦断した台風19号をはじめとする暴風・豪雨等の自然災害により、農作物や農業施設に甚大な被害が生じるなか、TPP11・日欧EPAに続き、日米貿易協定が発効されたことで、農業経営への不安が一層の高まりをみました。一方で、農業生産性の向上や農作業の省力化に向け、人工知能や情報通信技術などを活用したスマート農業への積極的参入が相次ぎました。

このような情勢のもと当会は、中期経営計画（令和元年度～令和3年度）の初年度として、JAバンクが地域農業や地域振興に貢献できるよう、また地域の皆さまからのご信頼にお応えできるよう金融商品・サービスの提供に注力してまいりました。

この小冊子は、私どもの経営方針や最近の業績・経営内容などを、地域の皆さまにご案内するために作成したものです。ご高覧いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

今後も、県内各地域のJAとともにお客さまの利便性の向上に取り組みながら、県内農業をはじめとする地域産業発展に向けて全力を傾ける所存でございますので、皆さまの一層のご支援・お引き立てを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和2年7月